



開館45周年
建物築150年
記念

企画展

戦争と庶民のくらし



2024年 4月27日(土) ▶ 7月7日(日)

【入館料】 一般・大学生 240円(190円)
高校生 180円(140円)
小・中学生 120円(90円)

※()は30名以上の団体料金
※「どこでもパスポート」提示の小・中学生は無料
※仙台市内在住の65歳以上の方は無料

【開館時間】 午前9時～午後4時45分(入館は午後4時15分まで)
【休館日】 毎週月曜日(休日を除く)、休日の翌日(土・日・休日を除く)、
毎月第4木曜日

問い合わせ

れきみん

検索



公益財団法人 仙台市市民文化事業団

仙台市歴史民俗資料館

Sendai City Museum of History and Folklore

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪 1-3-7(榴岡公園内)

電話 022-295-3956 / FAX 022-257-6401

ホームページ: <https://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/~rekimin/>

Eメール: folk muse@deluxe.ocn.ne.jp



宮城県指定有形文化財

開館45周年・建物築150年記念企画展 戦争と庶民の暮らし

2024年4月27日(土)~7月7日(日)

企画展では、仙台地方を中心に近代の戦争と庶民のかかわりについて考えます。近代仙台と戊辰戦争、西南戦争、徴兵制と仙台鎮台(第二師団)、日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦、満洲事変と「軍都」、日中戦争、第二次世界大戦、戦時下の暮らし、戦後の米軍占領下などに関する実物資料を展示し、戦前・戦中・戦後の移り変わりを振り返ります。また当館の建物(旧歩兵第四連隊兵舎、宮城県指定有形文化財)が築150年を迎えることから、旧兵舎とその移り変わりについても紹介します。

※当館建物は明治7年(1874)または明治9年(1876)に建築されたとみられていますが、企画展では明治7年建築説に基づいて紹介します。※表紙は『尋常小学算術 第一学年児童用 上』(昭和10年発行)の挿絵を基にデザインしました。

関連イベントのご案内

*すべて参加自由(入館料がかかります)、会場は仙台市歴史民俗資料館

①展示解説

日時：5月18日(土)、5月25日(土)
いずれの日も11:00~11:30、14:00~14:30

②体験「榴ヶ岡周辺の戦争遺跡を歩く」

日時：6月9日(日)、6月16日(日)、7月7日(日)
いずれの日も11:00~11:30、14:00~14:30

③体験「戦時資料を見てみよう、さわってみよう」

日時：6月22日(土)10:00~16:00

④講座

(1)「近代の戦争と庶民の暮らし」
日時：6月29日(土)13:30~15:00
講師：当館学芸員

(2)「近代仙台と戦没者祭祀」
日時：7月6日(土)13:30~15:00
講師：当館学芸員

会期中のその他のイベント

ゴールデンウィークおもしろ昔たいけん

第一部：4月27日(土)~4月29日(月・祝)
第二部：5月3日(金・祝)~5月5日(日)

季節展示「七夕と盆」7月6日(土)~8月25日(日)

次回企画展

「通信網の発達と庶民の暮らし(仮)」

7月20日(土)~11月10日(日)



- JR** 仙石線「榴ヶ岡駅」下車徒歩約7分
- 徒歩** 仙台駅東口から徒歩約20分
- バス** 仙台駅西口青葉通、三井住友信託銀行前付近・仙台市営バス50番、51番乗り場から乗車、またはロフト前・仙台市営バス18番乗り場から原町経由に乗車、いずれも「原町1丁目」下車、徒歩約7分
- 地下鉄** 東西線「宮城野通駅」下車、徒歩約17分
※公園駐車場(48台・有料)は混雑することがあります。
公共交通機関のご利用をおすすめします。

歩兵第四連隊大隊本部 ([『宮城県写真帖』より])

明治41年(1908)

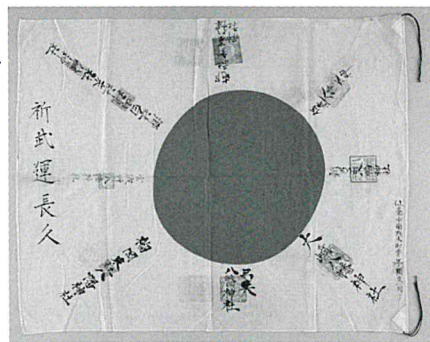
明治7年(1874)、仙台市榴ヶ岡に兵舎が建築され、翌年歩兵第四連隊が置かれました。戦後、建物は米軍キャンプ、宮城県警察学校等として使用された後、榴岡公園整備のため昭和52年(1977)に兵舎1棟を残して解体されました。この時残った兵舎を活用し、昭和54年(1979)11月3日に仙台市歴史民俗資料館が開館しました。



日章旗(仙台八八幡がけ)

昭和初め頃

昭和6年(1931)9月18日の満洲事変勃発以降、仙台では武運長久を祈って八つの八幡神社を参詣する八八幡がけが流行しました。



墨塗り教科書「初等科国語5」 「9軍隊生活の朝」

昭和20年(1945)9月以降使用

昭和16年(1941)以降に小学校が国民学校と改称されると、教科書も改訂され軍国思想が盛り込まれました。敗戦後の昭和20年9月20日、文部省はGHQからの指令が出る前に、独自に国語教科書の中で削除すべき教材を指定し、墨で塗りつぶすなどして削除させました。

